



2020年 3月11日
第127号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



地本主催「出向者懇談会」開催!

出向先で奮闘中の組合員の皆さんから、様々な声が出されました!



2月27日～29日、地本主催「出向者懇談会」を開催し、出向先で奮闘中の28名の組合員（3日間延べ人数）が参加しました。

懇談会の冒頭、JR東労組の組織現実を伝えるため、2月10日開催の本部定期中央委員会での山口中央執行委員長あいさつを読み合わせ、それに連動した横浜での組織現実について、資料を使い説明し、ご意見をいただきました。

その後、各出向先における労働条件や労働環境、地本に対する要望等のご意見をいただきました。特に新型コロナウイルスに対する各出向先の状況もお聞きすることができて、本体と出向先における違いも明らかになりました。

懇談会後は懇親会を行い、出向先で奮闘されている組合員の皆さんの労を労いました。

【組織現実に対するご意見】

- なぜ、組合員が離れてしまうのか認識していない。不当労働行為で辞めたしか言わない。会社が悪いだけで反省できないグループだし、自分たちに落ち度はない。
- いけいけとどんとやりたいグループ。不当労働行為でやったって何の意味があるのか。
- 国鉄改革の精神はどこにいったのか。職場・雇用・生活を守ろうとしていたのに。36年前を忘れない。
- 何も連絡はなかったし、懇談会の場で初めて知った。「何をやっている」と言いたい。3年目にしての裏切りに怒り。
- 世相があって労働組合は活用。彼らなりの世界観を持っている。現実の要求は2の次で理解する必要はない。目の前の組合員に目を向けなくて、反省できない。
- 「ひっかきまわしてどこが悪いか」と言っていることに怒り心頭。心配した事が現実になってしまった。

【出向先における近況報告や業務関係のご意見】

- 新車に合わせた運用になっていて、連結・開放が同じ時間にあたる。異車種はない。本数は変えられないので時間が集中する。
- 新聞や分会情報があれば送ってほしい。出身職場が気になるし、出身職場に伝えてほしい。出向先に来ていないから。
- ホームに上がって清掃するが、シャンパーがほしい。個人用がなく事務所で3つしかないし共用がない。
- 新車を運ぶ気動車が昭和42年製のもの。壊れているのに騙し騙しに使っている。
- 65歳以上で退職される方が多い。ギリギリまで働かせ、2カ月や1カ月前に延長するのか聞かれる。事前に情報がほしい。
- 面談は「自分の時間」アスベスト検診は「出張扱い」お互いの人事課でしっかり繋いでほしい。
- オリンピック関係で検査を前倒し、工事が輻輳している。協力会社は3連夜や4連夜までさせられている。
- 技術指導がなくて教えられない。受ける会社の問題もあるが、貼り紙で終わり。受けるなら会社の体力が必要。
- 出向先の休日は109日、本体より5日少ない。しかし出向先の本社は114日もらっている。どうみてもおかしい。

参加された組合員の皆さん、ありがとうございました。

横浜地本はご意見を受け止め、出向先の労働条件改善に向けて運動を展開していきます!